

ごろごろみかん

R7年10月31日
社会福祉法人からしだね
足立区立青井保育園
みかん組担任

NO. 4

暑さも過ぎ去り、ようやく秋らしい季節になりましたね。外に出ると、活発な動きで元気いっぱい身体を動かして遊んでいるみかん組さんです。日中と朝夕との寒暖差で体調を崩しやすいので、しっかりと一緒に手洗いをして感染症予防に努めていきたいと思えます。



今月の保育のまなざし 人間関係 9月 同じだね！ 10月 一緒にあそぼう



友だちの名前を呼んだり、「〇〇ちゃんはどこ？」と聞かれると指をさして教えてくれるようになっていた最近のみかん組さん。今までは大人との関わりが主でしたが、保育者と友だちのやり取りをみて笑ったり、何してるの？と、近くへ見に来る姿も多くなり、友だちにも興味が広がって来ていると感じます。そんなみかん組さんの気持ちを大切にしながら関わってきました。

《お友だちのも気になるな～》

友だちのやっている事には興味はあるものの、同じ物を共有して友だちと遊ぶのはまだまだ難しい年齢です。ある日、A君が車の本を見ながら、知っている車を指さして教えてくれるので「救急車だね」「バスもあったね」と答えていると、同じく車好きなB君が、そのやりとりを聞いて近くに見に来ました。そこで、保育者は一緒の本を3人で見ようと誘いますが…A君は持っていた本をプイッとB君から遠ざけてしまいました。そうだよね～これはA君が見ていた本だもんね、と思った保育者は、B君にも車の本を持ってきて渡しました。横に並んで、それぞれの車の本を見始めたA君とB君。諦めない保育者は、A君が次の消防車を指さして教えてくれた時に「消防車あったね！B君のにもあったよ」と探して見せると、B君の本を覗き込み「あっ！」と嬉しそうな表情。今度はB君がA君の本を覗き込むと、プイッとしながらも、次の車を探す時には、また真剣にB君の本を見ているA君でした。この本は僕の！でもお友だちのも気になるな…の気持ちの葛藤が見て取れて可愛い一場面でした。葛藤する気持ちを受け止めながらも、保育者が間を繋いでいく事で、お友だちとの関係を築いていく土台が少しずつ育んでいけるといいな、と思っています。

《その時の気持ちを大切に》

ごっこ遊びが盛んになってきているみかん組さん。「いらっしやいませ」と、お店屋さんになったり、「はい、どうぞ」とご飯を作ってお家ごっこ、お医者さんになって薬を塗ってくれる事もあって、普段の生活での経験を活かしながら楽しんでいます。真似っこをするのも大好きなみかん組さんなので、友だちと一緒に遊ぶ中で相手の物が使いたくなることも多々あります。保育者と一緒に「かして」と伝えられるようになってきていますが、まだまだ貸し借りが成立することは少なく、「待っててね」や「やだ」の返答が殆どです。そんな時には、「使いたかったね」と気持ちを受け止め、「使い終わるまで〇〇しようね」と気持ちが切り替えられるように声を掛けています。また、「待っててね」と言った子には「まだ使いたいのね」「待ってて、って言えたね」と伝えています。大人に気持ちを受け止めて貰えることで、他者を受け入れる力が育っていくと思うと、今は焦らず丁寧に見守っていきたいと思えます。少しずつ「いいよ」と、交渉成立な場面もみられるようになってきていますよ。

友達との関りが広がって間もないこの時期。自分の思いが通らなかつたり、やり取りが上手くいかない事もまだまだありますが、保育者が間に入りながら丁寧に関わっていくことで、友達と一緒に楽しい！という経験が沢山できる様にしていきたいと思えます。

